

平成27年11月

袋井市議会定例会

一般質問通告内容

袋井市議会

インターネットで本会議の中継（録画）放送を行っています

Yahoo! や Google などの検索画面から

「袋井市役所／市議会トップページ」



「本会議のインターネット中継」をクリック



(ライブ中継) または (録画放送) をクリック

傍聴者の皆様へ

携帯電話はマナーモードに切り替えをお願いします。

一般質問通告議員

1 2月2日(水) 午前

質問順序	質問形式					ページ	
1番	一問一答	高	橋	美	博	議員	…… 1
2番	一括	大	石	重	樹	議員	…… 2
3番	一問一答	伊	藤	謙	一	議員	…… 4

1 2月2日(水) 午後

4番	一括	岡	本	幹	男	議員	…… 5
5番	一問一答	戸	塚	哲	夫	議員	…… 7
6番	一括	山	田	貴	子	議員	…… 8

1 2月3日(木) 午前

7番	一括	廣	岡	英	一	議員	…… 9
8番	一括	鈴	木	弘	睦	議員	…… 11
9番	一括	戸	塚	文	彦	議員	…… 12

質問順序	1	議席番号	1 2	質問者	高橋 美博
質問事項・要旨（具体的な質問事項） <<一問一答>>					
1	戸籍事務などの窓口業務の民間委託について 第2次行政改革実施計画に示された窓口業務を含む事務事業の包括的業務委託の導入検討は、重大な問題を含んでいると考える。 (1) 戸籍事務の民間委託は問題がないか。 (2) 市職員削減が市民サービス向上につながっているか。				
2	自衛官募集に関する住民基本台帳閲覧について 多くの自治体が自衛隊に住民基本台帳の情報を提供し、自衛官募集に使われていることが問題となっている。本市の対応はどうか。 (1) 閲覧許可か、名簿としての提供か。 (2) これまで何人の個人情報を提供してきたか。 (3) 本人の同意、保護者の承諾を得たか。 (4) 自衛隊に個人情報を提供できる根拠法令は何か。 (5) 本市の自衛官募集のその他協力の取り組みは。				
3	小中一貫教育について 今年度、小中一貫教育制度や小学校での英語教育のあり方、小学校教科担任制などの検討が進められている。 (1) この間の検討経緯と来年度以降への展開方法はどうか。 (2) 小中一貫教育についてどう捉えているか。 (3) 小中一貫教育のメリット・デメリットについての考えは。 (4) 袋井の目指す方向はどのようなものか。 (5) 学校統廃合と小中一貫教育推進の関係についての見解は。				
4	学校等での原発事故想定での避難訓練の実施について 原発が存在する限り、その危険はなくなる。その危険性を認識し、常に準備をすべきと考える。 (1) 危機管理マニュアルの策定、避難訓練実施の考えは。				
5	教育施設へのLED照明の計画的導入について 省エネルギー対策として教育施設の照明をLEDに計画的に転換すべきと考える。 (1) これまでの省エネ化の取り組みはどうか。 (2) 積極的・計画的に進める考えはあるか。				

質問順序	2	議席番号	3	質問者	大石 重樹
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					
1	<p>小規模企業等の支援策強化について</p> <p>第2次安倍内閣が掲げた経済政策パッケージ「アベノミクス」により、円高の是正、株価の上昇、企業の業績回復、雇用情勢の改善など、景気は緩やかながら回復が続いている。しかし、都市と地方また大企業と中小・小規模企業との格差は今なお大きく、景況感は異なっている。</p> <p>アベノミクス効果の波及が乏しく厳しい環境下にある、市内小規模企業等に対する支援策について伺う。</p> <p>(1) TPPの大筋合意など市場環境が大きく動く中、昨年からの一年、本市の産業経済の実態はどうか。</p> <p>(2) 日本経済の回復基調が続く中、市内中小・小規模事業所の経営また雇用環境は相変わらず厳しいが、どのような要因によるものと分析しているか。</p> <p>(3) 国の施策「まち・ひと・しごと創生」事業として、「プレミアム付商品券発行事業」が実施され、10月末終了したが、目的とした購買意欲の向上や市内経済の活性化につながったか、現在どのように評価しているか。</p> <p>(4) 昨年6月20日、小規模企業振興基本法及び支援法が成立・公布された。地域の特性に応じた施策の実施が求められていることから公布後の動向を伺う。</p> <p>ア 小規模企業振興基本法と支援制度について、公布されてからどのような周知を図ってきたか。</p> <p>イ 小規模事業者の支援について、中核となる商工団体などと具体的かつ有効な施策の検討はしてきたか。</p> <p>ウ 地域創生・地域経済の主役としての小規模企業の持続的発展、振興に向け「袋井市小規模企業及び中小企業振興基本条例」を早急に制定すべきと思うがどうか。</p>				
2	<p>国際親善交流と袋井市への誘客について</p> <p>袋井市を大きく発展させ住みよい街にするための3つの達成目標の1つとして「農工の振興を図るとともに、今後は特に観光や商業の発展が必要」と市長は言っている。</p> <p>市と市民は、郷土の偉人などの礎を基に、長く深い国際親善交流を行っており、この貴重な資産を大切に守り継ぎ、国内外に向けてさらなる顕彰と親善交流を深めるとともに、市の観光政策にもこれらを有効に活かしていくことが求められる。</p> <p>(1) 姉妹都市米国ヒルズボロ市との交流促進の現状は。</p> <p>(2) フェ市・クアンナム省などベトナム国との交流促進の現状は。</p> <p>(3) 屏東県など中華民国との交流促進の現状は。</p> <p>(4) 可睡齋に日中友好の証し、またシンボルともなる「活人剣碑」が再建された。貴重な歴史遺産を顕彰し、また活かした親善交流を行っていく考えはあるか。</p> <p>(5) 中国・台湾をはじめアジア人の訪日需要は根強い。まず縁が深いアジアの親善交流先の人たちを、袋井市に呼び込むための、観光推進策は考えているか。</p> <p>(6) 郷土の偉人の功績を称え、顕彰する恒常的施設整備を早く進め、誘客しやすい体制づくりが必要と思うがどうか。</p> <p>(7) 市と友好先相互の情報が常に交わされ、市民間の友好交流がより親密に図られる方法また手段は考えているか。</p>				

質問順序	2	議席番号	3	質問者	大石 重樹
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					
3	地区選出の民生委員・児童委員について 改選期ごとに、民生・児童委員のなり手不足は全国的に深刻化しており袋井市も同様である。来年度改選期を迎えるが、自治会依存のなり手探しへの対応が求められる。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 今期委員の残任期間は1年となったが、定員は充足されているか。 (2) 新たな就任へ同意を得るため、民生・児童委員活動の懇切な説明による真の啓蒙が必要だが、どのように行っているか。 (3) 民生・児童委員の候補者探しは、自治会長にとり重圧となっている。適任者を発掘する、また再任を依頼するため、市はどのような支援をしているか。 (4) 年齢要件について、国・県に対し新任、再任とも緩和するよう要望した結果はどうか。また実際の運用はどうか。 (5) 民生委員・児童委員協力員設置の検討はなされたか。 (6) 役割の増加に伴う負担軽減のため、新たに業務の分担を図っていることはあるか。 (7) 任期を終え、退任式で感謝状などが贈呈されているが、どのような基準や判断で行われているか。 				

質問順序	3	議席番号	4	質問者	伊藤 謙一
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一問一答》					
1	<p>内陸フロンティア・食のセントラルキッチン構想に関して</p> <p>先日の議会報告会でも取り上げられ非常に関心を集めた同構想であり、今議会での代表質問にも取り上げられている。特区申請から、内陸フロンティア推進区域として新たに県から指定され、今後ますます地域資源を活かした魅力づくりが求められると考えるため、以下を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 内陸フロンティア・食のセントラルキッチン構想について、その後の取り組みの進捗は。 (2) 同構想の該当地域である袋井市の北部地域において、今後も土地利用を含めて推進していく考えがあるか。 (3) 同構想を考える上で、都市計画道路森町袋井インター通り線の早期整備の実現は不可欠に感じるが、この内陸フロンティア・食のセントラルキッチン構想と連動して考えることができないか。 (4) 以前に一般質問として取り上げられた（仮称）市道川会西山線の新年度の取り組みと、今後の方向性は。 (5) いわゆる西山開発に関して、この地域を再度内陸フロンティア構想と連動して構築していく可能性はないか。 				
2	<p>輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと創生会議について</p> <p>本年度から袋井市では、総合戦略などを検討・推進する体制を構築するため、特定の課題を集中的かつ専門的に審議する「輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと創生会議」を設置している。人口ビジョンを中核に据えた会議だと認識しており、様々な情報を「やらまいか通信」にて発信している。会議参加者の顔ぶれは正に本市にとっての貴重なシンクタンクと呼べる顔ぶれであり、本市の将来を担う貴重な機会だと感じるため、以下を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 本会議の計画期間は本年から平成31年の5カ年であり、具体的な計画期間が設けられている。計画期間内での具体的な活動内容及び本市としての最終的な目的を伺いたい。 (2) 基本方針の構成において、若者・場の力・健康づくりを掲げている。人口減少を克服するために目指す将来の方向性を達成するために掲げられていると認識しているが、具体的にどのような理由でこの三点を掲げられたのか伺いたい。 (3) やらまいか通信を毎月、拝見している。現在や将来の本市の姿を知る上でも、また様々な御経験を持つ本会議メンバーの意見が集約されていると感じており、よい情報ツールであると感じるが、同通信を毎月発信している具体的な目的を伺う。 (4) 創生会議のどのような意見をもとに、施策を組み立てたのか伺う。 				

質問順序	4	議席番号	2	質問者	岡本 幹男
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					
1	<p>スポーツ振興について</p> <p>袋井市のスポーツ振興施策に関連して、次の4点について伺う。</p> <p>(1) オリンピック・パラリンピック事前合宿の誘致相手国は、今までの交流経緯からベトナムが適切と考えるがどうか。これに関連し、袋井商工会議所よりも内閣官房の「ホストシティ・タウン構想」に応じる形で要望が提出されていると聞くが、その後の進展はどうか。また、練習施設としてはエコパや袋井市の新総合体育館、宿泊施設としては市内ホテルや可睡斎への依頼が考えられるがどうか。</p> <p>(2) オリンピックのゴルフ競技の事前合宿施設として、葛城ゴルフ場と北の丸を候補とする考えはないか。民間施設であり、先方の意向が前提となるが、袋井市の経済界にもこの意向があると聞いており、袋井市として方向性を探るべきではないか。</p> <p>(3) エコパスタジアムの陸上競技のトラックが、ラグビー競技対応の改装のため2年間程度使用不能になる可能性が表面化し、陸上競技会が危機感を募らせている。インゴール部分は、一部を取り替え可能な芝や人工芝とすることでトラック使用との両立を静岡県に要請できないか。</p> <p>(4) 今年も県駅伝の時期となったが、選手の練習に夜間照明の満足にある施設がなく陸上関係者は苦慮している。このため、原野谷川北側で広愛大橋東側に照明付き周回コース整備を希望する案が陸上関係者にあるが具体化させる考えはないか。</p>				
2	<p>いじめ、不登校、少年犯罪の改善について</p> <p>いじめ、不登校、少年犯罪の改善は小中学校の諸問題を考える上で避けて通れない事柄である。これに関連し、次の4点を伺う。</p> <p>(1) いじめの件数は、袋井市内の小学校、中学校ともにこの3年間で減少していると聞く。件数の実態はどうか、また、いじめの認識をどのように行っているか。減少に寄与している要因は何であり、今後取り得る対策は何か。減少基調が実態を反映したものであればよいが、事態を潜在化させている面はないか。</p> <p>(2) 不登校の児童生徒数は、この3年間で目立った減少とはなっていないと聞く。不登校児童生徒数の実態はどうか、また、不登校児童生徒の把握はどのように行っているか。不登校の要因は、一般的には学力と友人関係にあるとされるが、袋井市内不登校児童生徒の発生要因は何であり、今後取り得る対策は何か。先般、平成26・27年度の魅力ある学校づくり調査研究事業の浅羽中学校区研究発表会が行われたが、この成果で、不登校児童生徒の減少に寄与すると考えられたことは何か。</p> <p>(3) 少年犯罪の検挙数の対象人口割で、袋井市は近隣市や静岡県と比較し高い水準にあると聞くが、実態と中でも中学生の占める割合はどうか。一般的には非行の要因は学力と生活習慣にあるとされるが、袋井市内中学生の非行の要因は何であり、今後取り得る対策は何か。</p> <p>(4) いじめ、不登校、少年犯罪の改善には、学校の教員だけでは対処しきれない面があると考えられる。家庭での関与や、コミュニティスクールなど社会の関与を、今後どう取り込んでいくのか伺う。</p>				

質問順序	4	議席番号	2	質問者	岡本 幹男
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					
3	<p>再生可能エネルギーについて</p> <p>持続可能な社会実現のためには、長期的観点から、エネルギー源の多様化、大規模集中型から小規模分散型への移行が必要とされている。この地域からのエネルギー転換には、自治体は重要な役割を担っており、これに関連し、次の3点を伺う。</p> <p>(1) 1点目は、消費主体としての自治体の役割についてである。現在、省エネルギーの徹底や、消費サイドから再生可能エネルギーの利用拡大に取り組んでいる点は何か。</p> <p>(2) 2点目は、事業主体としての自治体の役割についてである。現在、事業者として再生可能エネルギーの供給はどのように実現しているか。また、平成25年10月に行った屋根貸事業のその後の進展はどうか。</p> <p>(3) 3点目は、政策主体としての自治体の役割についてである。地域における再生可能エネルギーの普及拡大について実施している政策的取り組みは何か。新エネルギー機器導入促進奨励金の今までの実績と今後の見通しはどうか。国も、「公共施設への再生可能エネルギー・先進的設備等導入推進事業」や、先導的「低炭素・循環・自然共生」地域創出事業などの財政施策を用意しており、これらにエントリーする計画はないか。</p>				

質問順序	5	議席番号	1	質問者	戸塚 哲夫
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一問一答》					
1	農業振興について 現在、農業振興ビジョンの見直し・検討がされている。基幹作物であるお米の振興については、TPPへの参加も決まり大きな課題となった。圃場の大型化に伴い、利用権の設定も進み、農家も大型化、法人化が進んだ。今後は、袋井産米をいかに食べてもらうか大きな課題と捉えている。 (1) 袋井産コシヒカリは、消費者からどう評価されているか。 (2) 食味についての評価は他産地と比較してどうか。 (3) 袋井産コシヒカリの販路拡大をどう進めていくか。 (4) 「ふくほまれ」のブランド化はどう進めていくか。 (5) 稲作経営コスト削減に産業用無人ヘリの活用を提案するが。				
2	ドローンの活用について ドローンについては規制と利便性のバランスが重要と考えているが、今回は袋井市の防災・情報発信において活用することを提案する。 (1) ドローンの活用について市ではどのように考えているか。 (2) ドローンの活用を調査・研究する組織の設置の考えはないか。				
3	スマートフォンの無料アプリの活用について 市民と行政が協力し社会をよくする。オープンガバメントを実現するツールの一つに「Fix My Street」がある。 (1) この無料アプリを活用して市民から多岐にわたる情報提供のシステムを構築すべきと考えるが、市の見解は。				

質問順序	6	議席番号	8	質問者	山田 貴子
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					
1	ラグビーW杯開催 ラグビーワールドカップ日本大会 準備組織設置に向けて (1) 川勝知事は、11月11日の定例会見で、2019年の次回ラグビーW杯日本大会で会場になる当市のエコパスタジアムについて「エコパ周辺で、日常的にショッピングなどを楽しめる場所を考える時期にきている」とモール施設の整備を検討する考えを示されましたが当市の考えは。 (2) 市長の11月19日の定例記者会見で、エコパスタジアムも試合会場になることに触れ「外国人観光客の民泊受け入れを積極的に進めたい」「国際化へ街が大きく変わるチャンス、市民に英会話を身につけてもらおう」としているが、どのような計画なのか伺う。				
2	日本一健康文化都市 スポーツ庁は、昨年度の体力・運動能力調査を公表した。運動習慣化で健康に差がつくことで「運動と健康の相関関係は、明らか。運動を習慣にするよう意識してほしい」と呼び掛けている。 (1) 「日本一健康文化都市」を目指している本市として、市民に運動習慣化に向けた計画等ありますか。 (2) 手軽にできる運動を例えば市歌に合わせて幼児・大人・高齢者向けに創作してはいかがでしょうか。 (3) 文化都市として油山寺を起点とした「栄西」や「松下コレクション」などお茶の歴史と文化に関することに市として積極的に取り組んで「茶文化袋井」の知名度を上げる対策を考えてほしいがどうか。				
3	地域の魅力 地域の魅力を小学生にも知ってもらうためにどのようにしていますかお伺いいたします。 (1) 小学生の社会見学（遠足等）には、遠州三山はもちろん市内に由緒あるお寺が100軒ほどあると聞いていますが、それらを教えるために現地に行って見学等していますか。 (2) 袋井の偉人については、どのように教えていますか。 (3) 地域の魅力をPRするDVDづくりを小学生に取り組みさせる考えはありますか。 (4) フッピーを知ってもらうために市内の幼稚園や小学校のイベントに参加させてはいかがでしょうか。				

質問順序	7	議席番号	14	質問者	廣岡 英一
------	---	------	----	-----	-------

質問事項・要旨（具体的な質問事項） **《一括》**

1 景観形成と景観行政

本市は平成20年4月に景観行政団体となり、21年3月に「ふくろいの風景づくり計画」を策定した。「居は気を移し、養は体を移す」と言われるが、まちの風景も市民や来訪者の気移す、と思われる。

策定後7年を迎えようとし、第2次総合計画が策定されている今、景観形成と景観行政について伺う。

(1) 風景づくり計画に照らした現状について

ア 27年度が目標年度になっている景観形成推進事業や関連事業の進み具合、指標の達成度はどうか。また、景観形成を果たせた代表的な取り組みは何か。

イ 景観行政として、新たな事業計画や指標、長期的な目標が必要ではないか。

(2) 本市の景観形成の先導役である公共公益施設等の景観形成について

ア 新たな袋井駅のコンセプトは「人々が集う杜と水に調和した駅」であったが、袋井の顔づくりを含めてどう評価されているか。また、新総合体育館のコンセプトは「スポーツ文化の推進」で、「本市のシンボルとして誇れる施設となるよう意匠に配慮すること」と述べられているが、どのような景観をイメージされているか。

イ 景観アドバイザー会議は景観形成にどんな役割を担っているか。長期にわたって監修できる体制が必要ではないか。

ウ 袋井らしさを形づくるガイドラインの研究・策定が必要ではないか。

エ 例えば、教育施設のカラーコントロール、看板や暖簾などによる袋井宿の沿道修景事業、庭のある住まいづくりとして郊外での建ぺい率を低くする（50%程度）ことを提案するがどうか。

(3) 袋井市都市景観デザインコンセプト懇話会の風景づくりへの提言は、「地域特性を活かした文化の薫るまちづくりを総合的に推進し、美しい景観を次世代に継承していくこと」であった。景観行政は、まちの風景の「質」を追求する文化行政であり、行政の文化化が求められていると思うがどうか。

2 企業誘致・産業振興

日本は、経済の長期低迷、人口減少と高齢化という課題を抱え、TPPという世界経済の荒波に向かっている。国は、活力ある日本社会を維持していくために総合戦略をまとめ、本市も地方版総合戦略に取り組んでいる。また、袋井市工業振興計画の中間見直しも示された。

地域経済の活性化に向けた企業誘致・産業振興について伺う。

(1) 工業振興計画の中間見直しについて

ア 中間見直しの視点、見直しによる最重要施策は何か。

イ 部品事業は表に出にくい。これを応援すること、市民にも宣伝することが大事ではないか。

ウ ものづくりの「知恵袋」としての袋井を確立していくためには、オール袋井の体制づくりとネットワークの強化が不可欠である。かつて法人化を模索した「袋井市地域産業イノベーション機構」のような組織が必要ではないか。また、企業の存在は税収と雇用だけでなく、商品文化や企業文化の市民やまちづくりへの相乗効果も重視すべきではないか。

質問順序	7	議席番号	14	質問者	廣岡 英一
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					
<p>(2) 企業誘致にあたってのセールス戦略について</p> <p>ア 本市の企業誘致セールスにおける戦略、切り札とする「売り・強み」は何か。</p> <p>イ 静岡県東京事務所への職員派遣、すでに4回開催された「袋井東京交流会」などによる情報力、ネットワーク、人材誘致の成果はどうか。</p> <p>ウ 本市の強みは、圏域での産業集積と労働力のスキルが高いことにあるが、必死さが乏しく、知名度が不足している、との指摘を受けたがどうか。</p> <p>エ 自治体連携も必要で、東三河は5市で行っている。浜松のニジミ出しも考慮すべき、との指摘を受けたがどうか。</p> <p>オ 補助金は最終局面での判断材料で、補助金を上げれば企業が来るわけではない、との指摘を受けたがどうか。</p> <p>(3) 6次産業などコミュニティビジネスの創業支援に、国の「産業競争力強化法」を活用した事業化はどうか。</p>					

質問順序	8	議席番号	10	質問者	鈴木 弘睦
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					
1	交通弱者対策 (1) 「子育てタクシー」の導入促進について ア 子育てタクシー導入への考えについて伺う。 イ タクシードライバー養成講座受講経費の一部を助成する考えについて伺う。 (2) 高齢者の見守りを兼ねた移動販売車事業「買い物カー」に対する支援について ア 開業経費や運営経費への助成について考えを伺う。 イ 営業と併用した高齢者への見守り活動を行うことに対して市の考えを伺う。				
2	商業の振興 (1) 商業振興への目標と施策についての考えを伺う。 (2) 愛野駅・袋井駅周辺などをはじめとする市内全域の商業開発について市としての関わりについて伺う。 (3) プレミアム商品券「元気はつらっクーポン券」事業について ア 事業全体での課題について伺う。 イ クーポン券の換金状況と取扱店での利用傾向について伺う。				
3	旧山名コミュニティハウス用地の活用 (1) 平成28年1月1日から平成31年度末までの用地の利用スケジュールについて伺う。 (2) 道路事業完了後、平成31年度以後の用地利活用について考えを伺う。				

質問順序	9	議席番号	16	質問者	戸塚 文彦
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					
1	都市間交流 姉妹都市の提携をすることでより緊密な関係を構築するとともに、市民交流・観光・産業をはじめ経済面での相互協力や災害時における支援活動など幅広い交流は、相互の都市の発展と活性化が図られる。 (1) 東日本大震災を機に防災交流都市交流協定を締結した岩沼市との交流が活発に行われており、姉妹都市締結に向け検討すべきではないか提案する。 (2) 全国メロンサミットに参加していただいたことをきっかけに銚田市・夕張市・宇城市・酒田市・銚子市・田原市・土佐市・小林市・つがる市との「災害時における市町村間相互応援協定」の締結を検討したらどうか提案する。				
2	幼児教育施設整備 今後、幼保一元化による新たな認定こども園の創設は、待機児童の解消とともに「子育てするなら袋井市」と言われるまちづくりとなる。 (1) (仮称) 笠原認定こども園整備における予定規模・園児定員数と整備後の入園園児の推移は。 (2) (仮称) 袋井南認定こども園整備構想 ア 移転計画は、平成32年度までに策定とあるが、いつ頃までに整備する考えか。 イ 今後の園児数の推移等から袋井南幼稚園・南保育所・高南幼稚園の3園統合の認定こども園を提案する。 (3) 平成20年幼児教育等整備計画方針では、袋井西幼稚園・若草幼稚園・浅羽南幼稚園は、幼保園移行を検討するとなっている。次期総合計画地域編(案)には、掲載されていないがその理由は。また、突如(仮称)袋井東認定こども園整備構想が次期総合計画地域編主要事業となっている理由は。				
3	小笠山総合運動公園関連事業 小笠山総合運動公園の施設計画とアクセス道路のうち未整備の部分がある。 (1) 施設計画のうち、2期整備袋井側「研修・宿泊施設」1.4ha 宿泊人員200名程度とある。ラグビーワールドカップ2019の開催に向け県に強く整備の要望をすべきではないか。 (2) アクセス道路県道磐田掛川線の公園中央交差点から菩提・岡崎区間4車線整備計画であったが暫定2車線化となっている。未整備の道路部分は、計画や環境を阻害している。県民の財産をも放置している。市として活用方法を考えるべきではないか。				
4	医療救護計画 地震災害発災時、医療救護活動において救護所の早期立ち上げが最も重要である。 (1) 救護所の開設は、市内公共施設7カ所となっているが、市内診療所を救護所とするほうが現実的に立ち上がりは早く、機能を発揮できるのではないかと提案する。 (2) 救護所の補完施設として、ベッドを持っているデイサービス施設の活用を検討したらどうか。				